

# 信太郎新聞

津田信太郎市政相談所  
令和四年九月

## ご挨拶

平素よりお世話になっております。  
新型コロナウイルスの猛威は私たちの日常生活まで変えてしまうほど、脅威であり、未だ私たちはその困難の真つ只中にあります。  
福岡市でも感染者の拡大に伴い、飲食店をはじめとする中小企業への影響は大変深刻な局面にあります。



元来、本市は「アジアの交流拠点都市」として、福岡空港、博多駅、博多港などを通じて訪れる国内外よりの年間2200万人を超える入込観光客の多大な経済活動による活力で急成長をしています。

また成長著しいアジアに最も近い「国際物流ハブ都市」として、日用品、食料品、自動車、建築資材など、私たちの暮らしに身近なモノの多くは、まず本市に集まり、海外や全国各地へと配送され、本市には様々なモノが溢れ、私たちの豊かな生活を支えています。「人、モノ、カネ、事」を本市に集中させることによって生み出される利益を市民に還元していく好循環を都市成長の基本政策として力を入れてきました。

この結果が人口増、税収増に繋がって「住みやすい街、福岡」として確立したかと思えます。

しかし、今回のコロナ禍では、人の移動や外出、外食などの自粛により、基本的な経済活動が制限され、第三次産業（サービス業など）が九割を占める本市経済へのダメージは、国、県、市が繰り出す支援策等で窮地を凌いでいますが、大変深刻な状態にあり、本市経済は破綻し始めています。私は、特に飲食業、地場中小零細企業に対し、今までの支援策に加え、絶えず景気を刺激し、持続的な経営に資する積極的な支援策を今後も講じていく必要があると考えます。

そして、数年にわたる新型コロナウイルス感染症による傷跡に加え、ロシアによるウクライナ侵攻にて世界経済は更に混乱し、かつてない原油価格、物価高騰を引き起こしています。

我が国経済の背骨とも言える建設業界もセメント、鉄筋などの建材費や労務費などが急騰しており、新築、改築などの受注減が見込まれます。裾野が広い業界の冷え込みが与える日本経済へのインパクトはかなり大きくなると推測され、我が国が抱える不安材料のひとつと言えます。

更には、インフレ経済や円安が進み、消費が減退し、今後期待されている海外旅行なども伸び悩む可能性があります。

今回のウクライナでの惨劇は対岸の火事ではなく、私たちに直接的な影響があります。

マスコミではマイナス要素しか報道をしません、私は、今回の事で日本国がしっかりと経済的に国際競争力を堅持しながら、私たちが国内で積極的に経済活動を再開し消費を下支えしていくことにより景気が刺激され、更には海外観光客を呼び込みながら、貿易による外貨の獲得、外国人による消費の喚起を促し、不景気や円安などのピンチの状態をチャンスへと変えていく必要があると思えます。

私は、市議会議員として市民の皆さんの健康と命を守ることを第一に考え、更なるコロナ対策と共に、暮らしを支える施策を打ち出し、その支援を一人でも多くの皆さまへ届けてまいります。同時に本市経済の再興のための政策を多くの事業者へ届け、安心安全の福祉政策、将来ある子ども達の教育体制の充実などにも覚悟と責任をもって取り組みます。是非ご支援宜しくお願い致します。

## 信太郎の市議会レポート



市議会議員として10年永年勤続議員表彰をして頂きました。  
平成23年4月12日に初当選以来、沢山の皆様のご支援のおかげで何とか今まで勤める事が出来ました。心より、感謝申し上げます。  
コロナ禍でありますので、活動が縮小され、皆さまとも中々お会い出来ずにはありますが、これからも議員として、初心を忘れずに更なる福岡市の発展の為に邁進していきます。

### 令和2年～令和4年 信太郎が議会にて質問いたしました

- 保育園等での視力スクリーニング検査について
- 博多港の機能強化について
- 世界水泳の開催について
- 本市におけるeスポーツ振興について
- 福岡市水産業の振興について
- 漁業法の改正と今後の沿岸漁業の振興について
- 本市の留学生支援について
- 新型コロナウイルス対策・福岡市と医師会との連携について
- 家庭ごみの収集について

詳しくは津田信太郎ホームページにてご確認ください。



## シンタロウ Photo日記



山笠



どんたく



小島島PR



中学生向け  
選挙講座の講師



もちつき



お魚教室

## シンタロウ プロフィール・主な活動

昭和49年、福岡市議会議員津田たかしの長男として生まれる。  
市立室見小学校・私立泰星中学校・私立中村学園三陽高校を卒業。  
九州産業大学・ノーザンバージニアコミュニティカレッジ(米国)を経て平成15年元衆議院議員山崎拓先生秘書。  
徳倉建設(株)入社/同社 アフリカ・タンザニア事務所長  
平成23年に、福岡市議会議員選挙で初当選。  
平成31年4月に三期目の福岡市議会議員選挙に当選。

福岡市議会自由民主党市議団 総務会長、政務調査会長を歴任

- ・福岡市スポーツ推進委員
- ・しんちゃんカップ親善バレーボール大会 会長
- ・福岡市ソフトボール協会 副会長
- ・早良区ソフトボール協会 会長
- ・福岡市子ども会育成連合会 事務局長
- ・早良区子ども会育成連合会 会長
- ・玄洋社記念館 理事
- ・フレッシュリーグ九州硬式野球九州北部地区連盟 顧問
- ・少年ソフトボールリーグ 顧問
- ・西日本軟式野球協会 顧問
- ・西部地区レディースソフトボール連盟 副会長
- ・九州住宅建設産業協会 顧問
- ・福岡県ビルメンテナンス協会 顧問
- ・福岡市鮮魚仲卸協同組合 顧問
- ・福岡水産物商業協同組合 顧問
- ・保育推進議員連盟
- ・アビスパ福岡後援会 顧問

LINE 津田信太郎 LINE 公式アカウント

友だち登録をお願いします！

情報を発信していきます！よろしくお願ひします。

シンタロウと繋がろう



## 津田信太郎 市政相談所

〒814-0013 福岡市早良区藤崎2-12-11

TEL 092-841-1200  
FAX 092-841-1850

オフィシャルサイト  
http://www.tsudashintaro.com

LINE @tsudashintaro



信太郎HP





私たちが住む福岡市の人口は162万人に達し、国内で最も元気があふれる都市であります。都市機能はコンパクトに集約されており、周辺には自然豊かな地域が広がっています。特に早良区は脊振山系に囲まれ母なる川である室見川が南北に縦断し博多湾に流れ込んでいます。

私のライフワークの一つである室見川は、四季折々の恵みを惜しみなく私たちに与えてくれます。川沿いの緑地や田畑、しろうお、あさり、シジミなどをはじめとする様々な生物、植物は市民の憩いの源であります。

今回は背振山、室見川、博多湾のつながりについてお話をしたいと思います。

私は毎年、福岡市漁業協同組合の皆さんと一緒に山に登り、長年に渡り植林活動を行っています。

「なぜ漁業者が山に登り木を植えるのか？」と思われるでしょうが、この植林活動には大きな意味があります。山は近年の林業の衰退に加え、人手不足などのため山林の手入れが行き届かず、そのため荒廃森林が増えています。

元来、山には保水機能、治水力、二酸化炭素排出削減など多くの大切な役割がありますが、定期的に枝打ち、切り出しなどの手入れをしないと、その機能は著しく低下し、山の荒廃が進みます。

荒廃した山林の表土には日光が入り込み、樹木の根が深く成長しません。事実、近年の大雨により大規模な地滑りが発生し、多くの被害を引き起こしています。

この大きな要因の一つとして、生育不足で根が浅い樹木が多く、表土を流れる雨水に耐えられず、土砂と共に滑り出します。また手入れ不足の山には繁殖力が強い竹林が増えます。根が浅く、広範囲に育つ竹林も地滑りの原因となります。

私たちが毎年行っている植林は広葉樹を植えており、季節により紅葉し、葉が落ちれば表土に日光が入りやすくなります。

日光が入れば樹木が健全に成長し根は強くなり、災害にも強い山を作ります。

落ち葉は腐葉土に変わり、山の栄養分になるばかりでなく、その上に降る雨と共にミネラル豊富な地下水として川に流れ出します。

脊振山系を水源とする室見川には、その地下水が多く含まれています。流域の農地だけでなく、2〜3月にはしろうお、3〜4月にはあさり、シジミなどの多様な生物を育み、流れ込む博多湾では福岡の美味い魚を育てています。

良好な漁場を作り出しているのは山や川である事を熟知している漁業者は、感謝の気持ちと共に「生命の水」を作り出す山に登り、長年にわたって木を植えてきました。

この生命のバトンは山から川を伝い海まで繋がっています。

また、近年世界中にて大きな問題となっています。海洋プラスチックごみも、残念ながら河川を伝わり海に流出しています。

私は、植林活動や河川清掃、プラスチックごみ削減などに更に取り組み、母なる川である室見川を守り、素晴らしい貴重な自然を後世に残していきます。



植林活動の様子

と、その機能は著しく低下し、山の荒廃が進みます。

荒廃した山林の表土には日光が入り込み、樹木の根が深く成長しません。事実、近年の大雨により大規模な地滑りが発生し、多くの被害を引き起こしています。

この大きな要因の一つとして、生育不足で根が浅い樹木が多く、表土を流れる雨水に耐えられず、土砂と共に滑り出します。また手入れ不足の山には繁殖力が強い竹林が増えます。根が浅く、広範囲に育つ竹林も地滑りの原因となります。

私たちが毎年行っている植林は広葉樹を植えており、季節により紅葉し、葉が落ちれば表土に日光が入りやすくなります。

日光が入れば樹木が健全に成長し根は強くなり、災害にも強い山を作ります。

落ち葉は腐葉土に変わり、山の栄養分になるばかりでなく、その上に降る雨と共にミネラル豊富な地下水として川に流れ出します。

脊振山系を水源とする室見川には、その地下水が多く含まれています。流域の農地だけでなく、2〜3月にはしろうお、3〜4月にはあさり、シジミなどの多様な生物を育み、流れ込む博多湾では福岡の美味い魚を育てています。

良好な漁場を作り出しているのは山や川である事を熟知している漁業者は、感謝の気持ちと共に「生命の水」を作り出す山に登り、長年にわたって木を植えてきました。

この生命のバトンは山から川を伝い海まで繋がっています。

また、近年世界中にて大きな問題となっています。海洋プラスチックごみも、残念ながら河川を伝わり海に流出しています。

私は、植林活動や河川清掃、プラスチックごみ削減などに更に取り組み、母なる川である室見川を守り、素晴らしい貴重な自然を後世に残していきます。



信太郎が思うこと

ちょうど1年前に母より「来年度は町内の会計だそうよ。」と言われ、何をしたらいいのか少し不安な気持ちになりました。「大変なんだろうか」「どんな仕事だろう」などの思いも頭をよぎっていきます。町内の総会では顔見知りでご近所の会長さんや各組長さんばかりでしたので安心をしました。

会計の仕事は通帳の名義変更から始まり、町内会費の取りまとめや管理業務などですが、意外に1年間はあっという間に過ぎ、やっと慣れてきたのと思いつつ来年度の会計の方に引継ぎになりました。

今回、私は、町内会の会計という業務を通じ、町内会費がどのような目的で使用されているのかを詳しく知り、改めて自治会・町内会活動の大切さを

実感いたしました。皆さんから集められた会費は回覧板などの事務連絡経費、公園清掃、防犯灯や防犯カメラなどの維持管理費、敬老会や子ども会活動支援など地域の安全安心の為に活用をされています。

残念ながら町内には会費を払わず町内活動に参加をしないと言われる方もいます。市内の自治会・町内会の加入率は平成30年度調査では85.7%だったそうです。加入率は自治会制度が開始されて以来、低下傾向にあり、近隣住民同士の交流の希薄化や新たに引っ越しされた方々や集合住宅にお住まいの方への加入促進などのアプローチが難しく、地域活動への理解度の低下も要因の一つだと考えます。

自治会・町内会は自分が住む地域において一番身近なコミュニティーであり、そこでの支え合いや繋がりは大変重要だと思います。回覧板だけの情報だけでなく、地域行事での会話や交流などは、近年増えている孤独死や虐待などの未然防止や見守りにもつながります。

子育て、介護や仕事などの家庭事情があり地域活動に参加できないこともあると思いますし、自分が住む地域への思いや参加の在り方は多様であっていいと思います。しかしながら、生活をしていて何も不自由ないから、「私は関心ない」「会費は払いたくない」「誰かがすればいい」などの無関心な声を聞くと悲しい気持ちになります。

地域が安全で、ごみが落ちておらず、夜間でも明るく安心であるのは、市政日より、回覧板などでの情報提供、防犯パトロール、公園や各種清掃など、目に見えないところでの住民の皆さんによる地道な活動や多くの苦勞があるからです。加入率を上げるためにも、自治会・町内会活動の更なる周知が必要ですし、良い街づくりには住民の皆さんの色々なカタチの参画が不可欠だと思います。

さわら区「地域活動部員」ばりばり活動中です!!

河川清掃

愛宕山探検に参加

福岡マラソンボランティア

卒業証書

巨大卒業証書設置のお手伝い

お魚教室

夏休み恒例! ラジオ体操!

しんちゃんカップ バレーボール